

これから台風による大雨の季節を迎え、河川の氾濫や土砂災害が発生しやすくなります。ご自身やご家族などの大切な命を守るため、ハザードマップで地域の危険度や避難所の位置を確認し、日頃から気象情報に注意するなど、一人一人が災害について考え、備えましょう。

情報を入手しよう

防災行政無線（電話案内サービス）

防災行政無線を通じて避難情報の放送を行います。雨や風の音で放送内容がうまく聞き取れないことが想定されます。

聞き取れなかった場合は、フリーダイヤル「☎0120-002-220」に電話すると、直前に放送した内容を無料で確認することができますので、ぜひご活用ください。

また、ケーブルテレビのデータ放送や市ホームページ内でも防災行政無線の放送内容が確認できますので、チェックしておきましょう。



避難情報について

警戒レベルは5段階です。〔警戒レベル3 高齢者等避難〕または〔警戒レベル4 避難指示〕が発令された際は地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう。

警戒レベル ※1	市民がとるべき避難行動	避難情報等	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)
レベル5 命の危険 直ちに安全確保	すでに災害が発生している状況です。 ・命を守るための最善の行動	緊急安全確保 ※2 (佐野市が発令)	氾濫発生情報 大雨特別警戒等 (気象庁等が発表)
レベル4 危険な場所から 全員避難	・避難を要する危険な場所から速やかに避難を開始 ・避難先までの移動が危険と思われる場合は、屋内の高いところに避難	避難指示 (佐野市が発令)	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報等 (気象庁等が発表)
レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	・避難を要する危険な場所から高齢者、障がいのある方、乳幼児など避難に時間がかかる人とその支援者は、避難を開始 ・身の危険を感じる人も避難を開始 ・その他の人は避難の準備	高齢者等避難 (佐野市が発令)	氾濫警戒情報 大雨洪水警戒等 (気象庁等が発表)
レベル2	・災害に備え、ハザードマップなどにより自らの避難行動の確認	大雨注意報 洪水注意報等 (気象庁が発表)	
レベル1	・災害への心構え	早期注意情報 (気象庁が発表)	

※1 必ずしも警戒レベル1→5の順で発令されるとは限らないので注意してください。

※2 可能な範囲で発令されるものであり、必ずしも発令されるものではないことに注意してください。

問合せ 危機管理課 ☎2013056

9月は 防災月間

警戒レベル4
までに必ず避難

佐野市防災・気象情報メール

市が発令する避難情報や気象庁が発表する気象情報などをメールで受信できますので、登録をしておきましょう。



佐野市避難所開閉状況サイト

避難所の開閉状況や、混雑具合を確認することができます。



危険箇所を把握し 一人一人が避難行動を検討しよう

ハザードマップで危険箇所の確認

ハザードマップを用いて洪水・土砂災害の危険が想定される区域について、事前に確認し、避難先、避難手段、避難経路の検討をしておきましょう。



▲佐野市洪水・土砂災害
ハザードマップ



▲さのスマート
セーフマップ

マイ・タイムラインを作成して避難行動を決めておこう！

マイ・タイムラインとは、大雨による水害に備えて、自分自身がとる避難行動を時系列に沿って、計画するものです。一人一人が「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どのように」行動するべきか家族や親戚などと事前に話し合っておきましょう。

また、作成したマイ・タイムラインに基づき、予行を実施し、避難における危険箇所を把握しておきましょう。市ホームページに作成例がありますので、参考にして作成しましょう。



備えをしておきましょう！

食料などは最低3日分、できれば7日分を人数分備蓄することが望ましいといわれています。

(備蓄例) **食料** 1人当たり1日3食を3日分 **飲料水** 1人当たり1日約3Lを3日分 (生活用水は除く)、生活用品、カセットコンロ、カセットボンベ (1人当たり1日約1本を3日分)、お薬、乳幼児のミルクなど

なお、飲料水とは別にトイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水を張っておくなどの備えをしておきましょう。

食料備蓄はローリングストック法がおすすめ！

ローリングストック法とは、普段食べているカップ麺や缶詰、インスタント味噌汁などを少し多めに買い置きし、賞味期限の近いものから消費し、食べたらその分を補充していく方法です。この方法なら常に一定量の食品が備蓄されている状態を保つことができます。

